

○スポーツクラブ

No	推薦団体	市町村名	設立年月	年間活動回数及び参加数(平成27年実績)
1	相双地域連合	相馬市	平成17年4月	日常活動数 52日 45名 対外行事への参加 5回 375名 主催事業 4回 624名
	受賞団体名		会員数	スポーツ振興への貢献度
	特定非営利活動法人 オール相馬軍 ソフトボール倶楽部		66	・自主的に社会体育事業を企画立案、実施し、地域におけるスポーツの振興、競技人口の拡大及び世代間交流に貢献している。 ・自主事業以外の大会においても、運営に積極的に協力し、競技をとおした震災復興のための市町村間交流に貢献している。 ・社会体育活動のみならず、地域における環境活動を実施し、地域住民の生活を明るく豊かにすることにも努めている。
1	推薦理由 ・相馬市内のあらゆる地域、職域から成り立ち、10年間の活動計画を立案・実行が実を結び、設立後10年以上が経過した中で、活動実績が年々向上している。 ・理事会を10年間毎月1回定期的に開催し、活動の進捗管理を行う等、活動の中心として組織的に社会活動を行うよう努めた。 ・当該団体が中心となり、ソフトボール場の施設設備の発案・嘆願を行い、完成が実現した。 ・今年度は「ソフトを通じて地元相馬に活気を与える」ことを目的に24時間ソフトボール大会を実施し、広い世代から580名が参加し、地域における社会体育の普及と、住民の健康・体力の増進に貢献した。 ・市町村対抗福島県ソフトボール大会の運営に協力し、震災復興のための集客に多大なる影響を与えられるよう支援した。平成28年度は53チーム1500名の選手が出場した。 ・社会体育活動のみならず、環境活動として地域、施設周辺の草刈り、側溝整備、花植え、桜の木の植樹等を実施した。			

○スポーツクラブ

No	推薦団体	市町村名	設立年月	年間活動回数及び参加数(平成27年実績)
2	福島県体操協会	福島市	平成元年9月	日常活動数 毎日 20名 対外行事への参加 5回 100名 主催事業 3回 150名
	受賞団体名		会員数	スポーツ振興への貢献度
	福島新体操クラブ		70	・「身体をつくる、磨く」の基本要素が新体操の基礎に多くあることを伝えながら、様々な要望に対する強化案を指導、助言している。 ・クラブから指導者を多く輩出し、社会体育で活躍している。 ・県警柔道部、剣道部のコーディネーショントレーニングの一環として県警音楽学校のフラッグ指導を子どもたちも入って交流している。
2	推薦理由 ・長年にわたり、福島県内の新体操普及・発展に寄与し、ジュニア選手育成や福島県内の選手強化に尽力した。 ・「健康体操教室」や「ニューライフ体操教室」など、福島県民に対し、健康の増進と体力の向上に努め、活動を行っている。 ・平成元年に蓬莱BHクラブ、清水リフレッシュクラブを開設し、平成7年のふくしま国体、ねんりんピックでのミセスクラス(60歳以上)の発表に貢献した。 ・平成2年の福島新体操クラブ発表会より、幼児から高齢者まで幅広く発表会に参加し、異年齢間の交流を深めている。 ・平成28年度全日本ジュニア新体操選手権大会が福島市で開催されたときに、エキシビジョンとして素晴らしい新体操パフォーマンスを実施し、全国にクラブの活動をアピールした。 ・現在では、マタニティピクス、幼児体育(子どもたちの運動遊び・親子体操)の依頼も数多く受け、指導者が講師として派遣するだけでなく、クラブの子どもたちも参加して交流を深める活動を行っている。			